

スミフルフィリピン社の下でのナマ スファ労働者の状況



Pj Dizon – NAMASUFA PRESIDENT

1. 梱包作業所内では...

- 毒性の強い化学物質にさらされる
- 危険な作業条件
- 換気が悪い
- 個人用保護具、つまりPPEsの欠如
- 長時間労働
- 不安定な仕事
- 手当なし

2. ナマスファ労働組合

- 労働者が生活賃金、雇用保障、労働者の権利を求めて闘うために、2006年8月16日に登録された。
- 登録から数カ月後、組合員の一人であるヤルソン・ラスティモソが正体不明の襲撃者に射殺され、前組合長を含む組合員3人が負傷した。

2006年12月16日の銃撃事件に関する記事



The image shows a screenshot of a news article from Philstar Global. The page has a blue header with the Philstar Global logo on the left and navigation links for PHILSTAR HOME, THE PHILIPPINE STAR, PILIPINO STAR NGAYON, and THE PHILIPPINE STAR. Below the header, there are more navigation links: HOME, HEADLINES, OPINION, NATION (highlighted in yellow), WORLD, BUSINESS, SPORTS, and ENTER. There are also social media icons for Facebook, Messenger, and Twitter. The article title is "4 union leaders in Compostela Valley shot" and the date is "December 16, 2006 - 12:00am". The main text of the article describes the shooting of four union leaders in Compostela Valley, Davao City, and mentions that they are now confined at the Davao Regional Hospital in Tagum City, Davao del Norte. A quote from Omar Bantayan, secretary-general of the Kilusang Mayo Uno in Southern Mindanao, is also included.

PHILSTAR HOME | THE PHILIPPINE STAR | PILIPINO STAR NGAYON | THE PHILIPPINE STAR

HOME HEADLINES OPINION **NATION** WORLD BUSINESS SPORTS ENTER

#VACCINEWATCHPH COMMUNITIES OF THE FUTURE

4 union leaders in Compostela Valley shot

0 - December 16, 2006 - 12:00am

DAVAO CITY – Four union leaders in Compostela Valley were in critical condition after unidentified men shot them yesterday morning, an official of a militant labor group said.

The victims were identified as Vicente Barrios, president of the Nagkahiusang Mamumoo sa Suyapa Farms, and his fellow union leaders in Compostela town, Jerson Lastimoso, Aldin Corte, and Donie Glen Sondon.

The four are now confined at the Davao Regional Hospital in Tagum City, Davao del Norte.

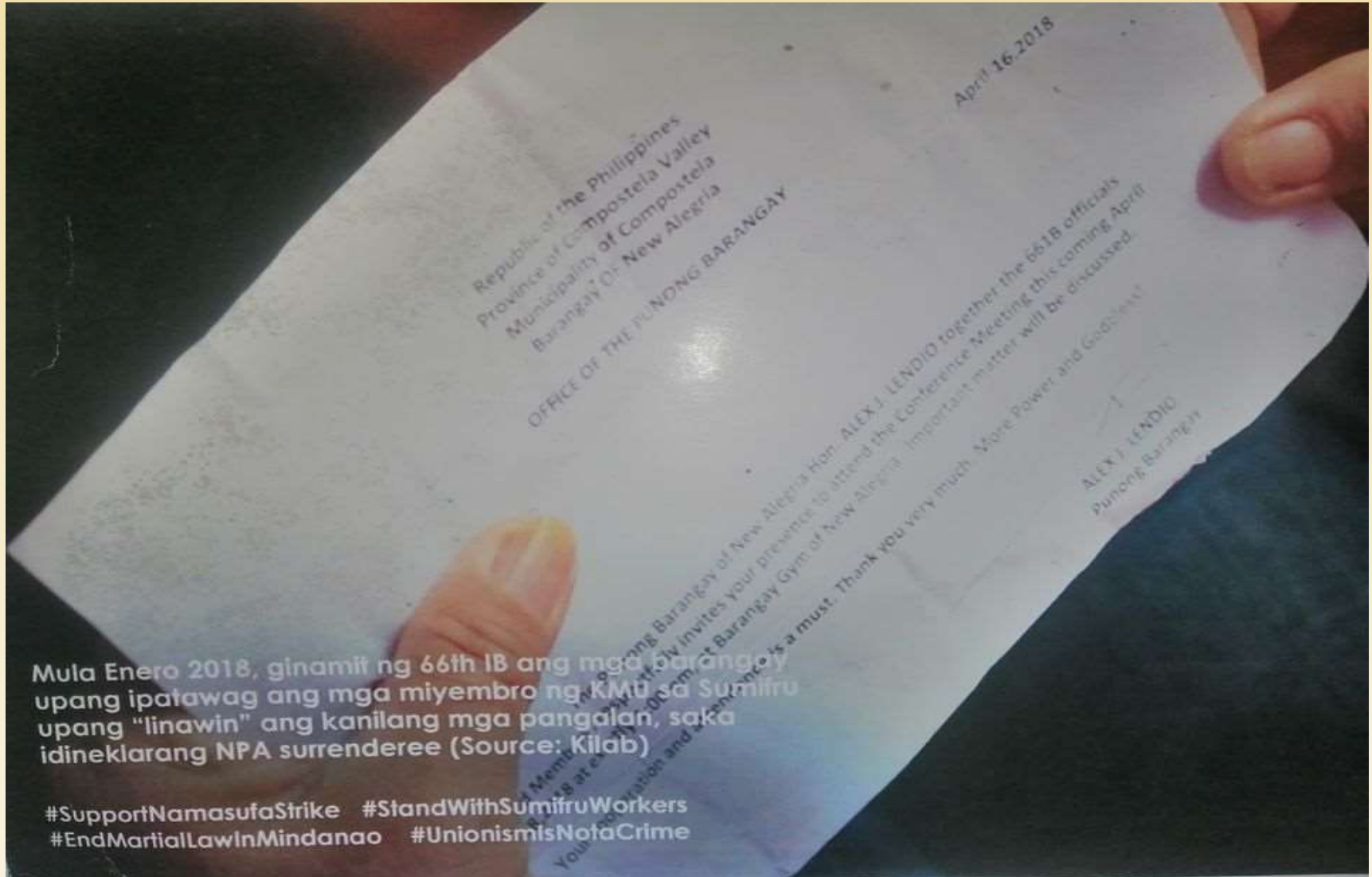
"We condemn this atrocity in the strongest terms. This culture of impunity against the workers and the struggling people should be stopped," said Omar Bantayan, secretary-general of the Kilusang Mayo Uno in Southern Mindanao.

Bantayan said the four union leaders, who are simply working in a banana plantation, should be given justice.

3. 「アカ」や「テロ」のレッテル貼り

- 2018年1月から同年4月まで、スミフルのナマスファ組合や他の革新派の組合のメンバーは、コンポステラ町駐在の第66歩兵大隊からの手紙を受け取った。
- 手紙は私たちをフィリピン共産党の武装組織である新人民軍の支持者だと非難していた。

スミフル労働者が受け取った手紙。



- 最近では、こうした攻撃は、2020年7月24日にも起こった。
- 物議を醸している反テロ法（ATA）がその週に施行され、複数の組織の革新派リーダーの写真が、テロリストとして私達をレッテル貼りし、ダバオ市の様々な地域で広められていた。
- ポスターの上に印刷されたのは「指名手配」の文字で、地域の様々な著名な活動家リーダーの写真と共に掲載し、私達を「テロリストの勧誘者」としてレッテル貼りした。
- ポスターに発行者は記されていない。



4.最高裁判決

- 2017年6月7日 - 最高裁はスミフルの申立てを棄却し、労働者をスミフルの直接の従業員とする控訴審判決を肯定した。

5.組合の統合

- 2018年8月9日 - コンポステラ町の8つの地方組合は、「全国労働組合連盟五月一日運動ーナマスファ」という1つの組合に統合され、生活賃金、雇用保障、労働者の権利を共同で主張した。

6. ストライキ

- 2018年10月1日 -7つのナマスファ組合支部がストライキを開始したのは、資本主義の権化スミフルが、雇用保障や団体交渉を行う私たちの権利を認めなかったためだ。



7. 暴力的解散

- 2018年10月11日 – フィリピン国家警察 (PNP) とフィリピン軍 (AFP) 構成員が率いる300人以上に及ぶスト破りがいっせいに7つのストライキキャンプに殺到した。
- ストライキをしている労働者を暴力的に解散させ、裁判所の令状なしにキャンプを破壊した。
- ストライキ労働者は暴行を受け、27人が負傷し、調理器具、食料品や私物が盗まれた。

10月11日の暴力的解散



(Photo: Wilfredo Silotan, Unloader of Sumifru for 10 years in Packing Plant 115 and a member of NAMASUFA. Silotan was among those injured during the violent dispersal. Photo from Carl Olalo, Kilusang Mayo Uno-Southern Mindanao Region (KMU-SMR))



- ストライキキャンプを守る11日間で、スミフルは2日以内に3800万ペソ(約8280万円)の利益損失を宣言。11日間の期間でスミフルの利益、推定2億900万ペソ(約4億5千万円)が失われた。
- しかし、労働者らが団体協約(CBA)で求めているコンポステラの全労働者(組合員に関わらず)の賃金・手当の増額は1日で50万ペソ(約109万円)にすぎない。

- スミフルはまた、ストライキを違法なストだと主張し、労働者たちを法に反して一斉解雇させた。しかし、労働者らは10月1日に始まったストライキでは必要な手続きを踏み、憲法で保障されている権利の範囲をはみ出さないように細心の注意を払っていた。

8.資本主義の権化スミフルによる報復

- 2018年10月31日 - ナマスファの現役メンバーであったダニー・ボーイ・バウティスタがコンポステラの市場で射殺された。



- 2018年11月11日 - ジェリー・アlicantという別の現役組合員が銃撃されたものの、なんとか幸運にも生き残ることができた。振り返って、2018年9月4日にも組合員ビクター・アジアスに対する暗殺未遂があった。そうすると、一連の労働争議に関わる暴力の二人目のサバイバーということになる。



- 2018年12月15日 ー我が家、前組合長の家と組合事務所が全焼した。



9. 組合、首都への旅路

- 2018年11月27日 – ナマスファの組合員300名以上は、抗議行動を実行するために首都マニラに行き、メンジョーラ橋でキャンプを張り、その後ボニファシオ広場とCHR(フィリピン人権委員会)の敷地内でキャンプを張った。







10. 労働者の今日...

- 2019年3月25日 – NLRC(国家労使関係委員会)は10月1日のストライキに参加した全労働者を復職させる決定を支持した。しかし、資本主義の権化スミフルはこの決定を認めていない。
- 影響を受けた労働者は約759人いる。
- パンデミックの前、彼らは家族を養うために一時的な仕事を見つけていた。
- しかし、パンデミックが拡大し、彼らのほとんどはこうした仕事を失った。
- 2020年9月23日時点でフィリピンの総症例数は309,000件。6000人近くが死亡している。

- 2020年9月11日-ダバオ・デ・オロ(旧・コンポステラヴァレー)州のコンポステラ町で現地のリーダーらと共に会議・協議を行った。



ありがとうございました
団結した民衆は決して
敗れることはない
国際連帯万歳！

